

1. 「やあ、みんな。僕はサルノスケ。よろしくね。」
2. 「僕は温泉が大好きなんだ。でも、アメリカじゃあ温泉にはなかなか入れないよね。だから僕は、温泉の元を買いにいくんだよ。」

ということで、アメリカなのになぜか看板が日本語で書いてあるデパートに、温泉の元を買いに行ったのです。アメリカのデパートに温泉の元が売ってるんでしょうか??
まあそれはいいとして、とにかくサルノスケくんはデパートに行ったのです。

3. デパートの入り口まで来てみると、一匹のおじいちゃんおサルが聖書片手にでっかい声で叫んでいるではありませんか。

「皆さーん、イエス・キリストは愛ですぞ！イエス様はわしらを愛しておられるのじゃ。イエス様はわしらのために十字架にかかって死んでくださり、三日目によみがえってくださったのじゃ!! 皆さーん、イエス様を信じたら光の中を歩む人生ですぞー！」

4. サルノスケくんはびっくりしましたが、とにかく知らん振りして温泉の元だけ買って家に帰りました。温泉の元を入れたお風呂につかりながらサルノスケくんは・・・

「な～んかすっごいおじいちゃんだったなあ……。でも、あのおじいちゃんが言っていたことって本当かな？光の中を歩む人生って、いったいどんなものなんだろう・・・？」

どうにもこうにも気になるサルノスケくんは、次の日にもう一度デパートに行ってみることにしました。

5. すると昨日のおじいちゃんは今日もデパートの前に立っていたのです。

「おじいちゃん、光の中を歩むって素敵なことなの？」

「そりゃあ～もう、生まれ変わった気分じゃよ。イエス様を信じたらのお、生まれ変わるのじゃ！」

6. 「わしは昔、それはそれは悪いおサルだったんじゃ。人間の子を見つけては、いじめてばかりいたんじゃよ。心の中は真っ暗闇だったのじゃ。」

7. 「ところがじゃ、わしはある時イエス様を知ったのじゃ。イエス様はこんなわしのために十字架で死んで、よみがえってくださったということをわしは知ってのお、感激の涙を流したものじゃよ。今でも思い出すと涙が出るのお・・・。
こうしてわしは、真っ暗闇の中ではなく、光の中を歩むようになったんじゃよ。そして人生が変わったのじゃ、生まれ変わったんじゃよ！」

8. 「光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい。」ヨハネ12:36

9. 「おじいちゃん、ありがとう。僕も光の中を歩んでいきたいなー。僕はこれからは、イエス様を信じて、聖書の教えに従って生きるよ！」

大切なことに気づいたサルノスケくんでした。めでたしめでたし、おしまい。